

1 学年・単元名 第1学年・ともだち いっぱい だいさくせん

2 単元の目標

友達と仲良く生活するために、時と場に応じた言葉のかけ方を学んだり、相手の気持ちを考えて行動することの大切さに気付いたりすることを通して、よりよい自分を目指して生活する意欲を高める。

3 単元に関わる児童の姿と本単元において願う姿

	A児	B児	C児	D児
実態	・相手の意図や感情を理解することが苦手である。 ・適切な行動を選択し調整することが苦手である。	・ルールがわからないので、トラブルに発展し、集団への参加がうまくいかない。 ・周りの状況や相手の状況を把握・理解し、状況に応じた行動をとることが苦手である。	・自信がなく、声が小さいので、相手に言いたいことが伝わらないことが多い。	・うまくいかない、あきらめたり投げ出したりしてしまう。
区分(項目)	3-(2)・(3)	3-(4)・4-(4)	6-(2)・(5)	2-(1)・3-(3)
願う姿	・相手の表情や行動に着目し、相手の気持ちを考えた行動をとることができる。	・周囲の状況や相手の状態を把握しながら、ルールを守って活動することができる。	・場に応じた言葉遣い、表現の仕方を知り、自信をもって大きな声で伝えることができる。	・自分の行動が相手に与える影響を理解し、気持ちをコントロールして活動することができる。

4 単元の指導と評価の計画

時	目標(◆) 主な学習活動(①、②…)	指導上の主な留意事項 ICTの活用	評価の観点【方法】			
			A児	B児	C児	D児
1 (個人指導)	◆自分の姿を振り返り、「友達ともっと仲良くなりたい」という自分の願いをもつとともに、単元の見通しをもつことができる。 ① 学校生活での自分の姿を振り返る。 ② 学習計画をたて、単元の見通しをもつ。 ③ 表情から相手の思いや感情を読み取ることができることを知り、「どんな気持ち?クイズ」を行う。	①… 本単元に関わる生活場面や学習場面を想起することができる物を準備しておく。 また、仲間と仲良く生活したいのに、うまくいなくて困っている気持ちを引き出すようにする。 ②… 何のために本単元を学習するのか、学習するとどんなになりたい自分に近づくことができるのか、目的を明確にできるようにする。 ③… イラストでは表情と気持ちを結び付けて考えることができるが、実際の顔では難しい場合は、実際に表情を作り鏡を見て、表情の特徴を確認する。  ①、③では、ICT機器を使って動画や写真、イラスト、記録等を提示する。	「友達ともっと仲良くなりたい」という願いをもち、そのためには、相手の表情に注目するとよいことに気付いている。 【発言・観察・ワークシート】	「友達ともっと仲良くなりたい」という願いをもち、そのためには、相手が怒ることをしないようにする必要性に気付いている。 【発言・観察・ワークシート】	「友達ともっと仲良くなりたい」という願いをもち、そのためには、自分の気持ちを伝えることが必要であることを気付いている。 【発言・観察・ワークシート】	「友達ともっと仲良くなりたい」という願いをもち、そのためには、自分の気持ちをコントロールする必要があることに気付いている。 【発言・観察・ワークシート】
	◆表情だけでなく、言葉や、身振り、場面などからも、相手の思いや感情を読み取ることが大切であることが分かる。 ① ウォーミングアップ「どんな気持ち?クイズ」(表情編)を行う。表情以外にも、相手の気持ちを。 ② 読み取する方法があることを知り、「どんな気持ち?クイズ」を行う。	①… 前時の学習内容を想起できるようにする。 ②… 表情からは読み取れない気持ちは、言葉や状況などからも相手の思いや感情を読み取ることができるとして、クイズを出題する。 個の実態とねらいに合ったクイズを出題する。  ①、②では、ICT機器を使って動画や写真、場面イラスト等を提示する。	相手の表情や状況等を合わせて考えることで、気持ちを理解することができる。 【発言・観察・ワークシート】	ルールを守らないと、相手は嫌な気持ちになることを理解している。 【発言・観察・ワークシート】	相手の気持ちを理解することができることに気付く、自信をもつことができる。 【発言・観察・ワークシート】	自分の気持ちだけで行動することで、相手が嫌な気持ちになることを理解している。 【発言・観察・ワークシート】
3 (ペア指導)	◆場面に応じて適切な「ぼかぼか言葉」を使うとよいことを知り、知っている「ぼかぼか言葉」を増やすことができる。 ① ペアで嬉しい気持ちになるときを交流する。 ② 「ぼかぼかボール回し」を行う。次時の「ペア紹介」で紹介する ③ 内容を考える。  【ペア】 ・A児とB児 ・C児とD児	①… ぼかぼか言葉を言われたり、優しくしてもらったり、心配してもらったり、励ましてもらったりすると嬉しい気持ちになることに気が付くようにする。 ②… 「ぼかぼかボール回し」を通して、様々なぼかぼか言葉を知ることが目的であることを事前におさえておく。 ③… 相手が嬉しくなるような紹介内容を考えることをおさえる。  ①では、嬉しい時を想起しやすくなるように、ICT機器を使って、場面のイラストや写真を提示する。②ボール回しをする様子を撮影し、児童の姿を振り返りの時に確認できるようにする。また、③では、紹介する内容をメモする際に、記録媒	相手の表情や状況に合った「ぼかぼか言葉」を考えたり、B児の意見を聞いて、バリエーションを増やしている。 【発言・観察・ワークシート】	「ぼかぼかボール回し」のルールを守りながら、「ぼかぼか言葉」のバリエーションを増やしている。 【発言・観察・ワークシート】	D児の意見を参考にして、状況に合った「ぼかぼか言葉」を考え、観察・ワークシート	「ぼかぼか言葉」を使うことで、相手も自分もあたたかい気持ちになることに気付いている。 【発言・観察・ワークシート】

時	目標(◆) 主な学習活動(①、②…)	指導上の主な留意事項		評価の観点【方法】			
		ICTの活用		A児	B児	C児	D児
4 (グループ指導)	◆ゲームの中で場面に応じて適切な「ぼかぼか言葉」を使うことができる。						
	① ペア紹介を行う。 ② ウォーミングアップ「どんな気持ち?クイズ」を行う。 ③ ウォーミングアップ2「ぼかぼかボール回し」を行う。 ④ 「ひねってパス」のルールを確認し、ゲームを行う。 ⑤ 自分や仲間のよい姿を交流する。	①… ペアから紹介されてどんな気持ちになったか聞き、自分を認めてもらおうと嬉しい気持ちになることに気が付くことができるようにする。 ③… 前時までに出来た「ぼかぼか言葉」を参考にできるように掲示しておく。 ④… パスをする時に「はい!」と声をかけたり、相手の様子を見ながらパスをしている姿を認め、よさに気が付くようにする。 ⑤… よい姿を動画で再生し、客観的に見るようにする。また、相手の立場に立って行動していることに気が付くように言葉がけをする。	相手の表情や状況等に合わせ、ぼかぼか言葉をかけている。 【発言・観察・ワークシート】	ルールを理解して、守るとともに、ルールを守ることに良さに気付いている。 相手の表情や状況等に合わせ、ぼかぼか言葉をかけている。 【発言・観察・ワークシート】	相手に聞こえる声で、ぼかぼか言葉をかけている。 【発言・観察・ワークシート】	ゲームに最後まで取り組むことができている。 相手の表情や状況等に合わせ、ぼかぼか言葉をかけている。 【発言・観察・ワークシート】	
5 (ペア指導)	◆ゲームの中で場面に応じて適切な「ぼかぼか言葉」などを使いながら、ゲームのやり方やルールを覚えることができる。						
	① ウォーミングアップ「ぼかぼかボール回し」を行う。 ② ゲームのやり方・ルールを確認し、ペアでやってみる。 ・タッチで交代ゲーム(走る・スキップ後ろ歩き・縄かけ足とび) ・息をそろえて運ぼうゲーム(ボール・風船・鉛筆・机) ③ かけられて嬉しい気持ちになった言葉を交流する。 【ペア】 ・A児とB児 ・C児とD児	①… ゲームの中で「ぼかぼか言葉」を使うと、仲良く活動ができることを伝える。 ②… ゲームのやり方を理解しやすいように図で示したり、実際にゆっくりやったりする。 「ぼかぼか言葉」を使ったり、場面に合わせた言動をしているところ、ルールを守れていることを即時評価する。 よい姿を動画で再生し、客観的に見るようにする。 ③… 相手の立場に立って行動していることに気が付くように言葉がけをする。	ルールを守ってゲームをしながら、ぼかぼか言葉を使うことができる。 【発言・観察・ワークシート】	ゲームのルールを理解できていない時は、自分から確認し、ルールを守ろうとしている。 【発言・観察・ワークシート】	自分がかけた言葉で相手が嬉しい気持ちになることに気付いている。 【発言・観察・ワークシート】	うまくできない時でも、気持ちを落ち着かせたり、切り替えたりして、最後まで取り組んでいる。 【発言・観察・ワークシート】	
6 (グループ指導)	◆ゲームで競争する場面でも、「ぼかぼか言葉」を使ったり、場面に合わせた言動をしたりして、仲良く活動することができる。						
	① ウォーミングアップ「ぼかぼかボール回し」を行う。 ② ペア対抗でゲームを行う。 ゲーム前半 ・タッチで交代ゲーム(走る・スキップ後ろ歩き・縄かけ足とび) ・息をそろえて運ぼうゲーム(ボール・風船・鉛筆・机) ③ 中間振り返り ④ ゲーム後半 ⑤ 自分や仲間のよい姿を交流する。	①… 回を重ねて、「ぼかぼか言葉」を言うことができるようになってきていることや、多くの言葉を出すことができていることを認める。 ②… 今日は、ペア対抗でゲームを行うが、仲良く楽しく活動するには、どうしたらよいかここまで獲得した技を使えるように言葉がけをする。 ③… 広めたいよい姿を紹介し、ゲーム後半で取り入れる児童が出てくるようにする。 ④… 良い姿は、即時評価する。 ⑤… 単元初めよりも自然に「ぼかぼか言葉」を使えるようになってきていることや、相手をよく見て場面に合った言動ができるようになってきていることを認める。	ゲームの中で、B児の表情や様子を確認して、「ぼかぼか言葉」を使い、仲良く活動している。 【発言・観察・ワークシート】	ルールを理解してゲームに取り組む、A児の頑張りを見つけて、伝えていく。 【発言・観察・ワークシート】	D児に聞こえる声の大きさと、「ぼかぼか言葉」をかけている。 【発言・観察・ワークシート】	自分の思うように事が進まなくても、気持ちをコントロールしてC児と一緒に最後までゲームに取り組んでいる。 【発言・観察・ワークシート】	
7 (グループ指導)	◆ペアの相手が変わっても、仲良く活動をし、よりよい自分を目指して生活しようとする意欲を高めることができる。						
	① ウォーミングアップ「ぼかぼかボール回し」 ② 第6時とペアを変えてゲームを行う。 ・タッチで交代ゲーム(走る・スキップ後ろ歩き・縄かけ足とび) ・息をそろえて運ぼうゲーム(ボール・風船・鉛筆・机) ③ 中間振り返り ④ ゲーム後半 ⑤ 本単元の学びを学校・家庭生活で活用できた場面について交流し、担任・保護者からのメッセージを読み、自分の姿を振り返る。	②… ペアが変わっても、獲得した技を使って仲良く楽しく活動することができた経験を積むことで、仲の良い友達が増えることにつなげていけるように、言葉がけをする。 ⑤… あらかじめ、通常学級での様子を学級担任から聞いたり、家庭での様子を保護者から聞いたりしておく。自身の変化に自信をもち、さらによりよい姿を目指していこうとする意欲をもつことができるようになる。 ②では、ゲーム中の様子をタブレットで動画撮影し、児童自身で③の振り返りで様子を確認できるようにする。 ⑤では、予め動画撮影した通常学級の担任からのメッセージを流したり、保護者からのメッセージを画面で確認できるようにしたりする。	ペアが変わっても、ゲームの中で、ペアの表情を確認したり、「ぼかぼか言葉」を使ったりして、仲良く活動している。 本単元でできるようになったことを、学校生活や家庭生活でも活かそうという意欲をもっている。 【発言・観察・ワークシート】	ペアが変わっても、ルールを理解してゲームに取り組む、ペアの頑張りを見つけて、伝えていく。 本単元でできるようになったことを、学校生活や家庭生活でも活かそうという意欲をもっている。 【発言・観察・ワークシート】	ペアが変わっても、ペアに聞こえる声の大きさと、「ぼかぼか言葉」をかけている。 本単元でできるようになったことを、学校生活や家庭生活でも活かそうという意欲をもっている。 【発言・観察・ワークシート】	ペアが変わっても、自分の思うように事が進まなくても、ペアと一緒に最後までゲームに取り組んでいる。 本単元でできるようになったことを、学校生活や家庭生活でも活かそうという意欲をもっている。 【発言・観察・ワークシート】	
【備考】 評価については、下記参照のこと 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編(幼稚園・小学部・中学部) ・21、22ページ 自立活動の意義(1)自立活動とは ・118、119ページ 自立活動の個別の指導計画の作成と内容の取り扱い(4)評価							